

陳情第118号	受理年月日	平成27年9月30日
付託委員会	教育水道委員会	
陳情者	小倉南区徳力四丁目2-16 少人数学級を実現する北九州市実行委員会 代表者 江藤 恭子 (署名1,551名)	H27.11.11:1,254名署名追加 H27.12.15:1,471名署名追加 H28.3.17:48名署名追加
件名	行き届いた教育を行うための少人数学級の実施について	
要旨	<p>本市で35人以下学級が、小学校1、2、3年生と中学校1年生で実施され、また、小学校4年生以上と中学校3年生では学校裁量で実施できるとされたことは多くの市民の望みを反映したものであり、少人数学級への移行は時代のすう勢である。</p> <p>しかし、教員増がほとんどない現在の状況では、学校現場は多忙と混乱を極め、加配教員等の流用が現場に支障をもたらしている。行き届いた教育と支障のない学校運営のためには、学級増に応じた教員定数の増加は避けられない。</p> <p>全国一斉学力テストや放課後に行われる子どもひまわり学習塾などに経費や人員を充てるのではなく、学級定員を少人数にして教師の指導が届くようにすることこそ、子供たちの学びを保障し学力を高める根本的な施策である。家庭学習により学力向上を図る施策は、家庭環境の違いを考慮していない。</p> <p>少人数学級による教師のきめ細やかな対応が、子供の不適応や学級の荒れなどを生じさせない学級・学校経営を可能とする。いじめなどの深刻な状況を早期に把握するには、少人数学級でなければ困難ではないだろうか。</p> <p>については、次のとおり措置していただきたい。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 来年度より学級編制基準を改正し、35人以下学級を実施するよう国に働きかけること。</p> <p>2 編制基準が改正されなかった場合、教員増に基づく市の独自措置の</p>	

(続 く)

拡大により、小・中学校での35人学級を来年度より実施すること。